

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 柳澤 哲二  
( 登録銘柄 コード番号 4667 )  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 加藤 淳  
( TEL 052-950-7500 )

## 「高精度GPS測位サービス」における事業連携と新製品発売のお知らせ

当社は、三菱電機株式会社（執行役社長：野間口 有）及び三菱プレジジョン株式会社（取締役社長：立光 武彦）の展開する「三菱高精度GPS測位サービス<PAS>」に関して、測量・土地家屋調査士・土木業界における同事業展開を目指し、代理店提携を締結し、関連製品のリリースをいたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1 事業及び新製品名

- ・「三菱高精度GPS測位サービス<PAS>（Positioning Augmentation Services）」事業における、国内第一号としての代理店契約を締結
- ・同事業における関連製品「PAS-PAD」をリリース

### 2 事業の背景と内容

政府推進のe-JAPAN構想にも盛り込まれている「次世代情報通信基盤」の整備として衛星測位システム（GPS等）の高度な活用と、測位システムや地理情報システム（GIS）の研究開発や整備を推進し、我が国の国土空間における正確な位置を求める事の出来る環境を整備する等、高精度な位置情報に対する需要も確実に増えつつあります。国土地理院による「電子基準点データの民間提供の全国展開」や、測量法改正による「日本測地系から世界測地系への変更」だけでなく、土地家屋調査士業界における需要もまた、日々高まりつつあります。当社も「高精度位置情報ビジネス」と題し、これまで多くのアプリケーションの研究・開発・販売を行って参りましたが、今後も更にこうした需要は高まると予測しその一環として、また国内第一号の同事業代理店として、事業展開を図ることとなりました。

PASの利用者は、測量機器などに搭載しているGPS（全地球測位システム）受信機を使い、衛星からのデータを受信すると同時に、三菱電機株式会社のPASデータセンターから配信される補正データを受信することにより、半径誤差1～2cmの高精度な位置情報を得る事が出来ます。またその技術認知として、2004年7月には、国土地理院より「ネットワーク型RTK-GPSを利用する公共測量マニュアル（案）」も公開され、高精度を要する基準点測量3.4級に認められる形となりました。更に2009年打ち上げ予定の準天頂衛星により、測位利用エリアが大幅に拡大すると共に精度も飛躍的に安定することが期待されます。また同衛星の通信・放送機能を利用する事により、より高度で低価格な複合的サービスの提供が可能となります。PASの利用範囲としては、一般測量・土地家屋調査士・土木建設業だけでなく、地籍調査や防災監視・環境調査等、幅広い分野での適用が可能です。

### 3 新製品「PAS-PAD」の特徴

同事業に関するアプリケーション開発の第一弾としまして、2004年9月30日、「精密測位サービスPAS対応データコレクタ：PAS-PAD-1」をリリース致します。測量・土地家屋調査士・土木業界で、PASを使用した国内唯一のポケット型データコレクタであり、より簡単により精密なPASデータの取得と高精度測位を可能としたシステムです。

### 4 新製品の発売時期

平成16年9月30日より全国発売開始

### 5 営業展開について

平成16年10月1日より、全国一斉に販売活動を展開して参ります。

以上